信州職人学校
伝統大工コース

基礎コース／入門講座

2011年度受講生 募集案内

伝統の技と心を受け継ぎ
活躍の場を広げませんか

長野県建設労働組合連合会
信州伝統建築技能継承事業運営委員会
長野県松本技術専門校

建設労連では、①伝統建築技能の次世代への継承（技能後継者の育成）、②建築技能に対する社会的評価の向上（建築技能者の地位向上や待遇改善）、③伝統技能を生かした家づくりの推進等を目的に、2009年6月より『信州職人学校・伝統大工コース』を開講しました。

このコースでは、**「信州の伝統を未来につなぐ、新たな時代の大工棟梁」**の育成を目指して、中堅大工を対象にしたステップ訓練（1年目：基礎コース、2年目：応用コース）を行います。各コース修了者には、長野県知事が認定した独自の「技能評価試験」を実施し、合格者は「信州伝統大工」（1級、2級）の称号が与えられ、将来の活躍の基盤が形成できます。

開講以来、2年間で延43名（入門講座を含む）の仲間が受講し、技能評価試験では延11名に「信州伝統大工」（1級4名、2級7名）の称号が与えられました。また、信州職人学校は2010年度、国土交通省・林野庁連携プロジェクト**『木のまち木のいえ担い手育成拠点』**の全国10カ所の一つに選定され、独自の教材テキストや学校ホームページを製作するなど伝統大工コースの充実を図ったほか、全国からも注目される取り組みとなっています。

本年度は、第2期となる『伝統大工（基礎）コース』を開講します。先人が残した多くの民家や古建築に生かされた伝統技能に関心を持ち、さらなる技の上達と仕事領域の開拓を目指している若手大工の皆さん、『信州職人学校・伝統大工コース』に参加して、高い志を持った仲間とともに技術・技能を磨いてみませんか。

伝統構法の継承と新たな時

信州伝統建築技能継承事業のスキーム（技能継承訓練と技能評価の仕組み）

《受験・受講資格》 | 《技能向上訓練》 | 《技能評価》

- 建築大工の実務経験が3年以上の組合員 → 信州職人学校・伝統大工（基礎）コース（修了者）※）入門講座を含む → 信州伝統大工 2級 技能評価試験 → 合格：信州伝統大工 2級 ／ 不合格：（次回以降に再受験可能）
- 建築大工技能検定2級以上取得の組合員 → 信州伝統大工入門講座 → 信州伝統大工 2級 技能評価試験
- 信州伝統大工2級資格取得者 → 【2012年度実施事業】信州職人学校・伝統大工（応用）コース（修了者）※）入門講座は含まず → 信州伝統大工 1級 技能評価試験 → 合格：信州伝統大工 1級 → 講師、技能評価員等への登用 ／ 不合格：（次回以降に再受験可能）
- 建築大工技能検定1級取得の組合員又は実務経験10年以上の組合員 → 信州伝統大工入門講座 → 信州伝統大工 1級 技能評価試験

信州職人学校・伝統大工（基礎・応用）コース

①入門講座（座学中心）：訓練期間は計7日、27時間　技能評価試験を受験する者全員に受講を義務付け
②基礎コース（座学+実技）：訓練期間は6ヶ月コース、計26日、179.5時間（入門講座を含む）
③応用コース（座学+実技）：訓練期間は6ヶ月コース、計25日、175時間【2012年度に開講】
※）実技訓練は、県のスキルアップ事業を活用（基礎・応用コースの修了者には修了証を交付）。

信州伝統大工技能評価試験

①1級（学科+実技）：学科50問（1時間40分）100点満点、70点以上合格、
　実技は課題製作（7時間）持ち点100点からの減点方式で70点以上合格
②2級（学科+実技）：同上（但し、実技試験は6時間）
※）長野県技能評価認定制度を活用（合格者には県知事及び執行委員長名の合格証書を交付）。
※）技能評価試験の一方（学科又は実技）のみ不合格の場合、2年間に限り合格した一方の試験の免除を受けることができる。

伝統大工コース（基礎・応用コース）訓練カリキュラムスナップ

2009年度 基礎コース

実技 木造施工実習

実技 基本道具づくり

実技 基本規矩術実習

実技 基本工作実習

学科 木造製図実習

学科 木造材料

学科 木造積算

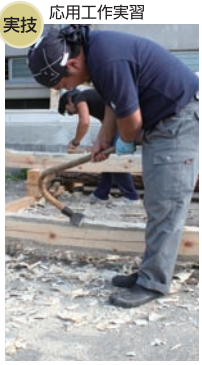
学科 木割と規矩術

学科 木造構造力学

学科 木造施工管理

2010年度 応用コース

実技 応用工作実習



実技 応用道具づくり

実技 応用規矩術実習

実技 伝統構法実習

学科 木造生産・経営

学科 材料・構造実験

学科 伝統建築研究

学科 木造設計

学科 木造構造計画

代のひとづくりを目指して

伝統大工（基礎）コース 訓練カリキュラムの概要と講師陣

区分	訓練科目	訓練内容	コマ数	講師陣（予定）
学科	木造材料	木材の産地・樹種別の基本特性、維持管理法（乾燥、腐朽、手入れ）等の実務に役立つ知識を学ぶ。	4	長野県林業総合大学校 武井　富喜雄
	信州の建築	信州の伝統的建造物の歴史、構法等についての基礎知識を学ぶ。	2	信州伝統的建造物保存技術研究会 吉澤　政己
	木造構造力学	構造計算のもとになる構造力学の基本（力の流れ、部材の応力と変形）を解説、演習により理解を深める。	10	㈱司構造計画 玉腰　徹
	民家の改修と再生	信州の民家の改修・再生方法について、調査、設計、施工法の基礎知識を学ぶ。	4	㈱降幡建築設計事務所 降幡　廣信 宮澤建築 宮澤　郁夫
	伝統建築研究	日本の伝統木造建築の概論を学ぶ。	2	秋山恒夫建築研究室 秋山　恒夫
	新伝統構法の計画	伝統構法に改良工夫を加えた新伝統構法について、耐震実験等に裏付けられた構造と施工方法を学ぶ。	2	㈲三浦創建 三浦　保男
	木造積算	木造積算の手法（木拾い、歩掛り、人工計算等）を学び、実例をもとに演習を通じて理解を深めるとともに、木造図面（構造図、伏図等）の基本的な読み方とポイントを学ぶ。	6	㈲マル和建設 藤森　久弘
	2級学科補習、模試	信州伝統大工2級技能評価試験（学科）に向けた補講と模擬試験を行う。	2	秋山恒夫建築研究室 秋山　恒夫
実技	基本道具づくり	各自の手道具の点検を行うとともに、道具づくり（鑿、鉋を中心に仕込みと研ぎもの）を通じて手道具への愛着を深める。	3	㈲寺島工務店 寺島　新蔵
	基本工作実習	仕口・継手の役割と用途を学び、鎌継ぎ、追掛け大栓、金輪継ぎ、三方差し等の墨付け、刻み、組み立てを行う。	8	宮澤建築 宮澤　郁夫
	木造材料（実験）	仕口・継手（試験体）の製作と強度実験を通じて、接合部強度への理解を深める。	5	
	木造施工実習	規矩術の基本実習を学ぶとともに、一部古材をを使った民家の架構フレーム（2間半×4間）の墨付け、刻み、組立て等一連の作業を通じ、伝統構法への理解と技能を身につける。また、「民家フォーラム2011」において、建て方作業（実演）を行う。	42	㈲寺島工務店 川又　健 ㈲三浦創建 三浦　保男
	2級実技試験練習	信州伝統大工2級技能評価試験（実技）に向けた練習を行う。	9	実技講師 （川又、宮澤、三浦）
公開講座		受講生への座学を兼ねて、通常授業で盛り込めない内容をテーマに、オープンセミナーとして開催。	13	県内外の棟梁、設計者、学識経験者に委嘱
地域調査		1泊2日で地域の伝統的建造物や建築文化を調査し、成果発表を行う。	10	秋山恒夫建築研究室 秋山　恒夫
その他		開講式・ガイダンス、OJT報告、調査事前学習、総評、修了式	6	
合計			128	

公開講座

第10回【講演】
中村 昌生氏
「数奇屋の伝統が今日の〈和風〉ーその形と技と心」

公開講座

第10回【実演】
杉森 義信氏
聚落壁（京壁）の実演

第2期年間授業計画案【2011年】

月/日	回	行事	Ⅰ限 9:00〜10:30	Ⅱ限 10:40〜12:10	Ⅲ限 13:00〜14:30	Ⅳ限 14:40〜16:10	Ⅴ限 16:20〜17:20
6/4(土)	1	開講式	開講式・ガイダンス	公開講座12	基本道具づくり		
6/11(土)	2		木造材料		基本工作実習		
6/18(土)	3		基本工作実習		基本工作実習（試験体製作）		
6/25(土)	4		木造材料（実験）		木造材料（実験）		
7/2(土)	5		信州の建築		公開講座13		
7/9(土)	6		木造構造力学		木造構造力学		
7/16(土)	7		木造材料		OJT報告	調査事前学習	
7/17(日)	8		研修旅行（地域調査）				
7/18(祝)	9	海の日	研修旅行（地域調査）				
7/23(土)	10		木造構造力学		木造構造力学		
7/30(土)	11		民家の改修と再生		木造施工実習（墨付け）		
8/6(土)	12		民家の改修と再生		木造施工実習（墨付け）		
8/20(土)	13		木造施工実習（墨付け）		木造施工実習（刻み）		
8/27(土)	14		木造施工実習（刻み）		木造施工実習（刻み）		
9/3(土)	15		伝統建築研究		公開講座14		
9/10(土)	16		新伝統構法の計画		木造施工実習		
9/17(土)	17		木造施工実習		木造施工実習		
9/24(土)	18		木造積算		木造施工実習		
10/1(土)	19		木造施工実習		木造施工実習		
10/8(土)	20		木造施工実習（仮組）		木造施工実習（仮組）		
10/15(土)	21		木造積算		2級実技試験練習		
10/22(土)	22		木造積算		2級実技試験練習		
10/29(土)	23		2級学科補講	2級学科模試	2級実技試験練習		片づけ
11/5(土)	24		木造施工実習（建て方）		木造施工実習（建て方）		
11/6(日)	25		公開講座15				
11/12(土)	26	修了式	総評	公開講座16	修了式	1・2級技能評価試験（学科）	
11/19(土)			1級技能評価試験（実技）				
11/20(日)			2級技能評価試験（実技）				
11/28(月)			「信州伝統大工1・2級」合格発表				

※入門講座のカリキュラムは以下の通り。
6月4日　【開講式・ガイダンス】【公開講座12】【基本道具づくり】
6月11日【基本工作実習】　7月2日【信州の建築】
7月30日【民家の改修と再生】　8月6日【民家の改修と再生】
9月10日【新伝統構法の計画】
11月12日【公開講座16・修了式】
以上18コマの中から8割履修で修了

2級実技試験課題

1級実技試験課題

信州職人学校 第2期伝統大工コースのご案内

基礎コース／入門講座

コースの概要

内　　容	基礎コースでは「伝統の技を現代に生かした架構計画（木組み）を提案し、施工できる技能レベル」を到達目標とし、「伝統木構法の基礎的な知識・技能を有する大工技能者」の育成を目指します。入門講座は、同時開講する基礎コース科目の中から指定された科目を受講し、８割以上の出席で修了となります。
応募資格	伝統構法に関する大工技術・技能の継承を志す者で、以下の①及び②に該当する者 ①長野県建設労働組合連合会傘下組合の組合員 ②建築大工の実務経験3年以上、あるいは建築大工技能検定2級以上取得者 ※）建築大工技能検定2級以上取得者は入門講座修了後、信州伝統大工2級技能評価試験を受験することができます。
訓練期間	2011年6月4日（土）～11月12日（土）の毎週土曜日（一部例外あり）
会場（主会場）	長野県松本技術専門校体育館（松本市寿北7-16-1）
募集人員	**15名**（2011年6月入校・第2期生）
受講料	**48,000円**（材料代・テキスト代を含む） ※）建築大工技能検定2級以上取得者で入門講座のみ受講する者は10,000円 ※）地域調査（研修旅行）の個人負担14,000円程度は別途徴収

募集要項

応募書類	受講希望者は、受講申込書に必要事項を記載の上、以下の書類を添えて郵送により申し込んで下さい。 ①写真を貼付した履歴書及び職務経歴書 ②建築大工の実務経験を証明する書類又は建築大工技能検定2級以上の合格証書の写し
応募受付期間	**2011年4月11日（月）～4月28日（木）** ※募集定員に満たない場合は第二次募集を行います。
応募書類の提出先	〒390-0864 松本市宮渕本村1-2 建労会館 長野県建設労働組合連合会　信州伝統建築技能継承事業運営委員会 宛
選　　考	入校者の選考は、書類審査及び面接等により行います。 面接等の日程（5月上・中旬の予定）及び会場は、改めてお知らせします。 **信州職人学校ホームページ　http://www.u-kensetu.gr.jp/shokunin/**

信州職人学校 新たな魅力（特典）

充実の教材テキスト

内外関係者の協力を得て作成した独自のテキストは授業（基礎・応用）で使う他、自主学習資料として活用できます。さらに著名な建築家による「公開講座」DVDを提供しています。

テキスト　DVD

ホームページやイベントで情報発信

受講生や修了生の仕事事例を紹介している学校独自のホームページを開設。さらに訓練修了後の活躍の場を広げるために技能関連イベントへ出展する等、情報発信にも力を入れています。

「活躍の場」を広げる取組みにも着手

「信州伝統大工1・2級」称号者の活躍の場の拡大を図るため、今後、内外関係者との連携を図り、具体策を検討する「信州建築職人ネットワーク委員会」を設置すべく、準備を進めています。

お問い合わせ

長野県建設労働組合連合会（建設労連）

〒390-0864 松本市宮渕本村1-2 建労会館【担当／宮川、矢ヶ崎、吉田】

tel.0263-39-7200　fax.0263-39-7202